

2004年度 決算説明

森永製菓株式会社

□2004年度業績

□2005年度予想

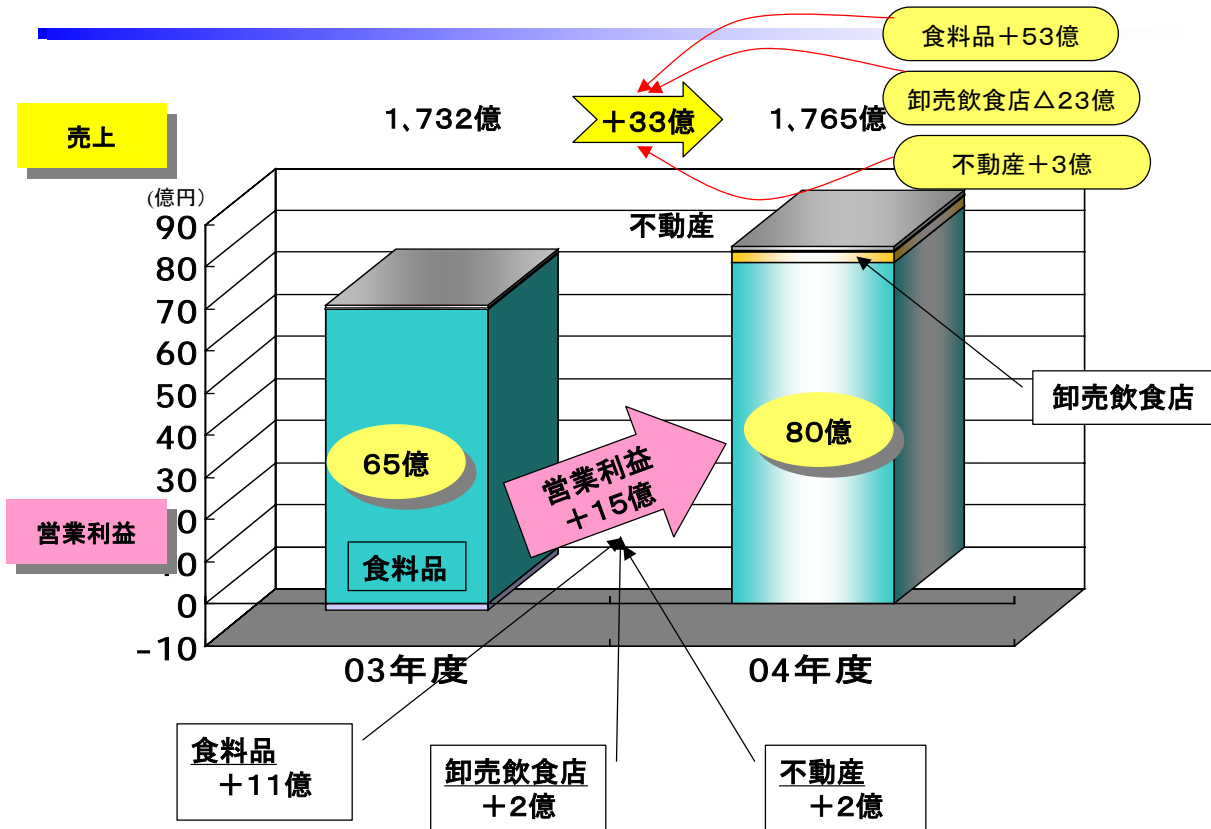
□中期経営方針

※連結、単独ともに、売上高、利益は前年度を上回りました。

(単位:百万円)

		2004年度	2003年度	前年比較	連単倍率
連 結	売上	176,478	173,159	3,319 101.9%	114%
	営業利益	8,042	6,565	1,477	113%
	経常利益	7,815	6,396	1,419	109%
	当期純利益	3,984	2,249	1,735	110%
製菓 単 独	売上	155,294	149,566	5,728 103.8%	
	営業利益	7,140	5,960	1,180	
	経常利益	7,143	5,979	1,164	
	当期純利益	3,635	2,360	1,275	

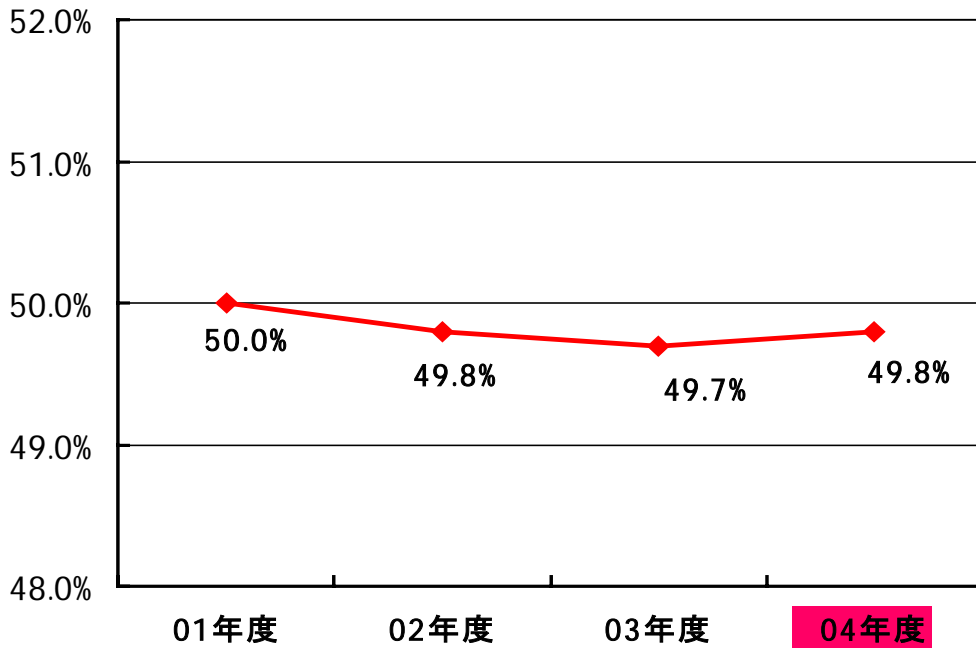
※営業利益増の主たる要因は、食料品部門の売上増です。





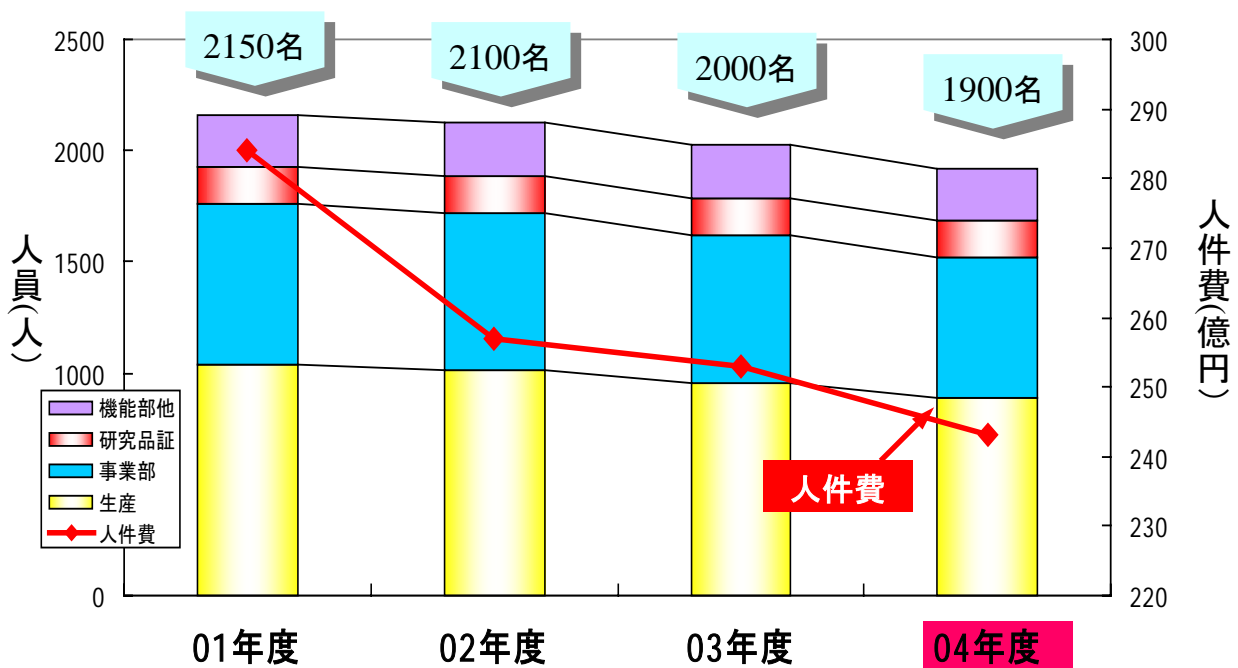
売上原価【製菓単独】

※売上原価は、ほぼ横ばいに推移しております。



人員推移【製菓単独】

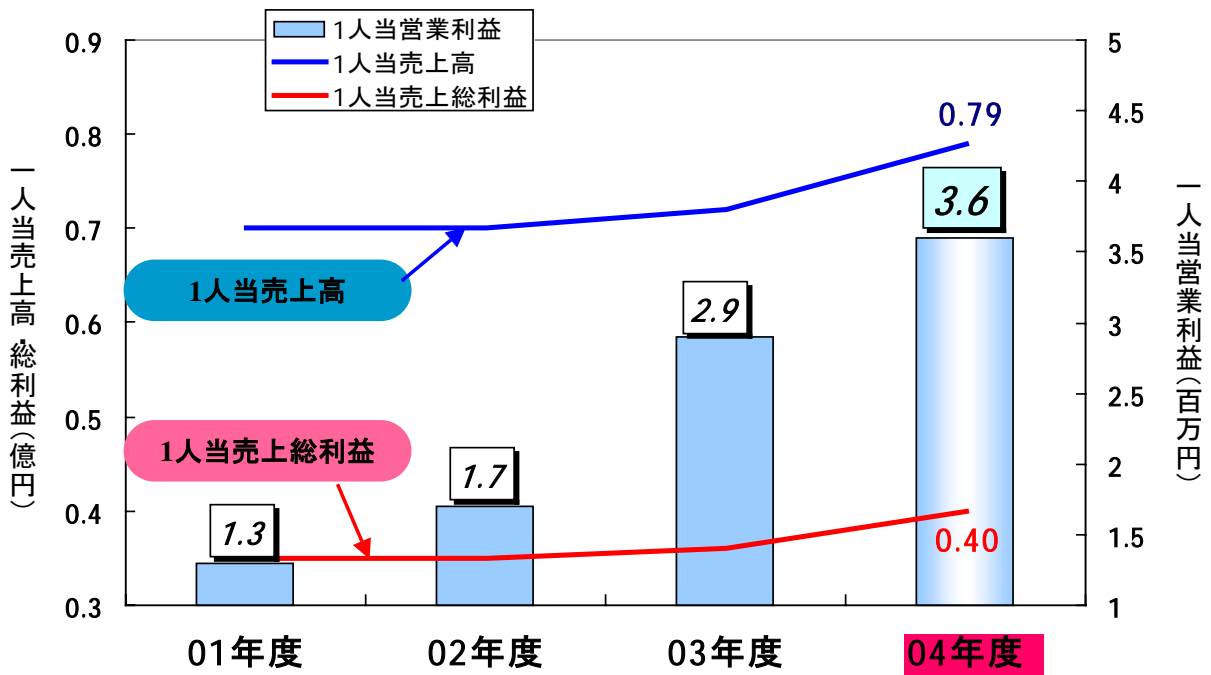
※定年退職者の増加など自然減により人員と人件費は下がる傾向にあります。





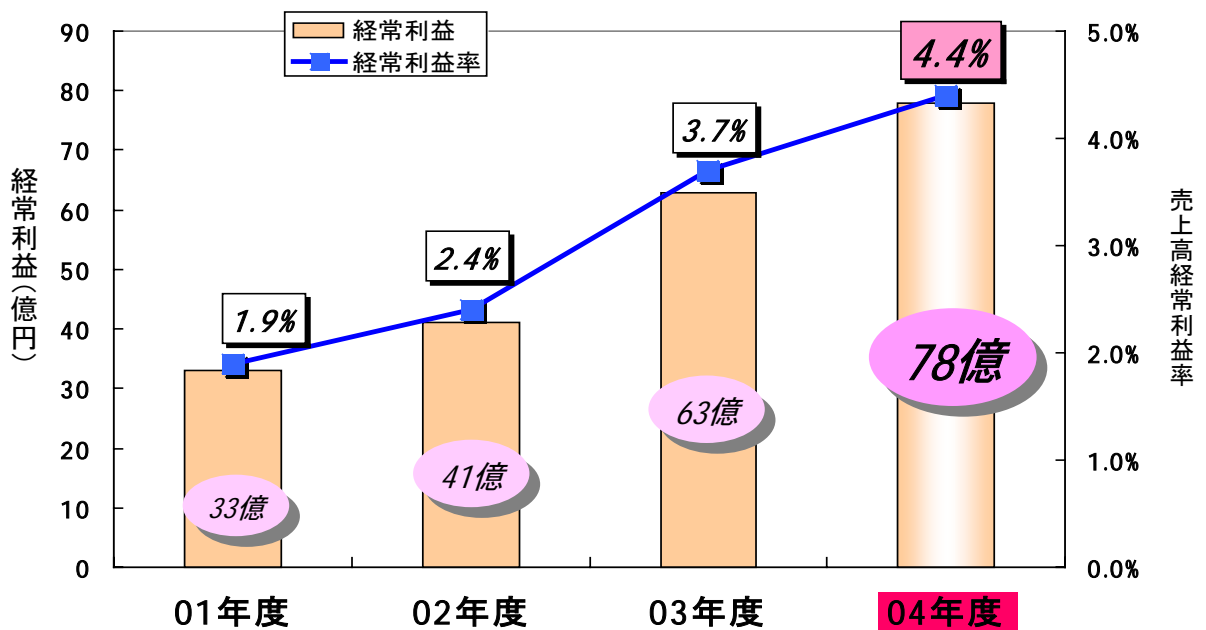
労働生産性【製菓単独】

※人員数の低下と、効率的な製造・販売により1人あたりの生産性が改善されました。



経常利益【連結】

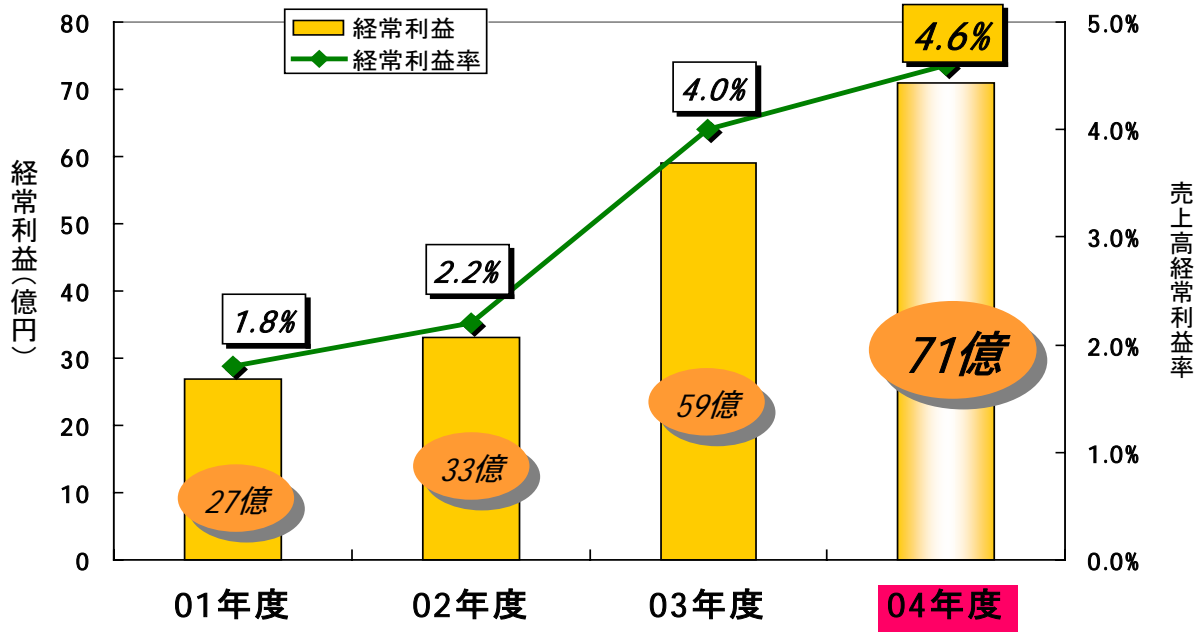
※4年連続して連結経常利益は増加しています。





経常利益【製菓単独】

※4年連続して森永製菓単体も経常利益は増加しています。



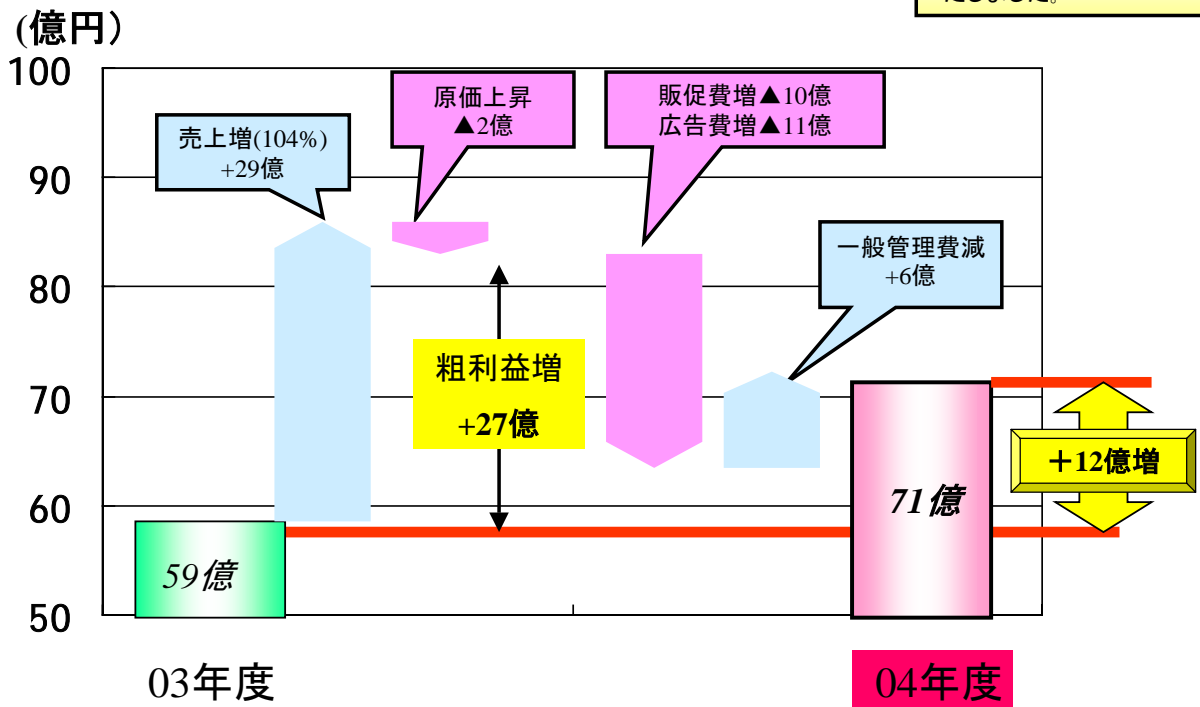
森永製菓2004年度決算説明会

9



経常利益増減要因【製菓単独】

※販促費、広告費を積極的に投入することにより売上増、利益増を果たしました。

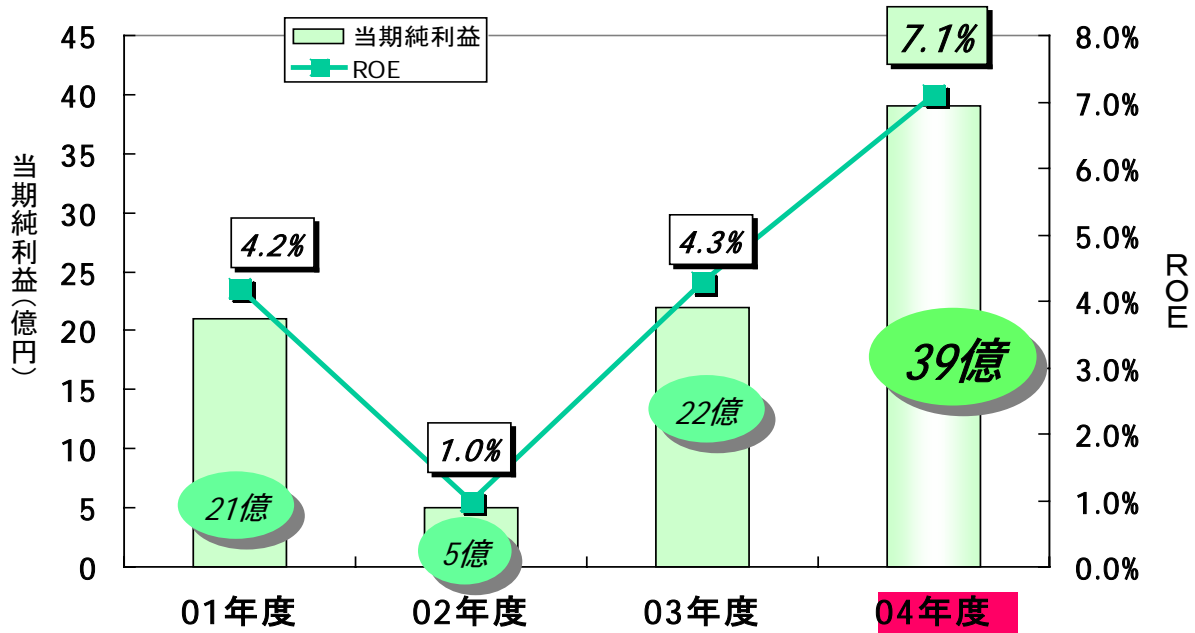


森永製菓2004年度決算説明会

10

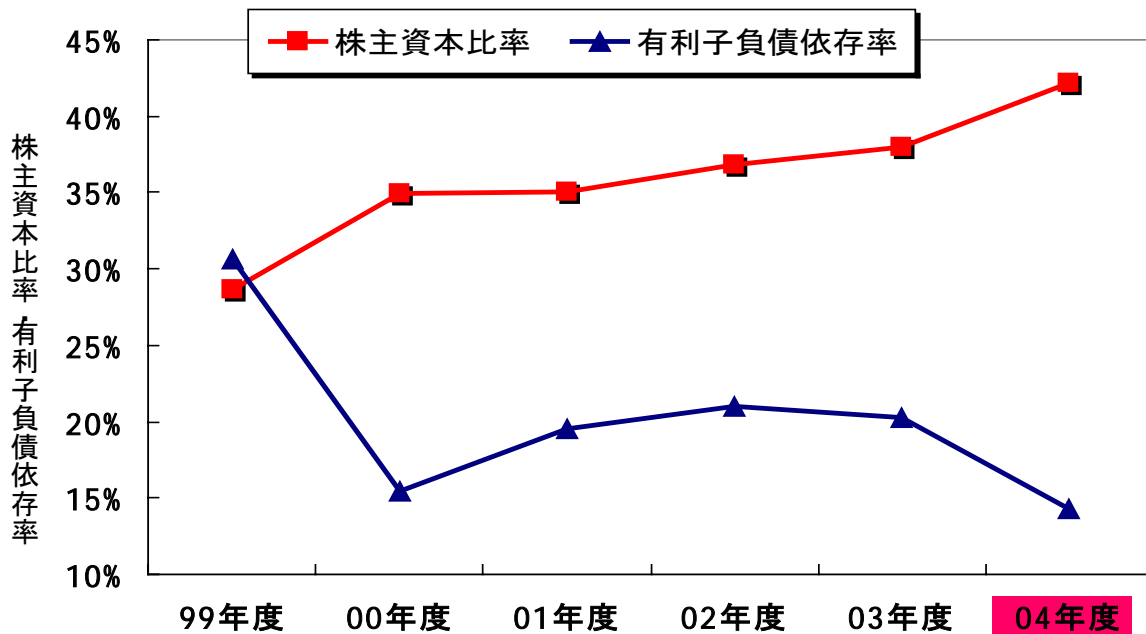
当期純利益【連結】

※02年度に保有株式の評価損を出した後、2年連続して連結純利益は増加しました。



財務体質【連結】

※6年連続株主資本比率の増加と、有利子負債依存率の削減により財務体質は順調に改善されています。



□2004年度業績

□2005年度予想

□中期経営方針



2005年度業績予想

※ 主カブランドへの集中や効率経営の推進により経常利益100億を目指します。
なお、純利益のマイナス見込みは、減損処理による一過性のものであります。

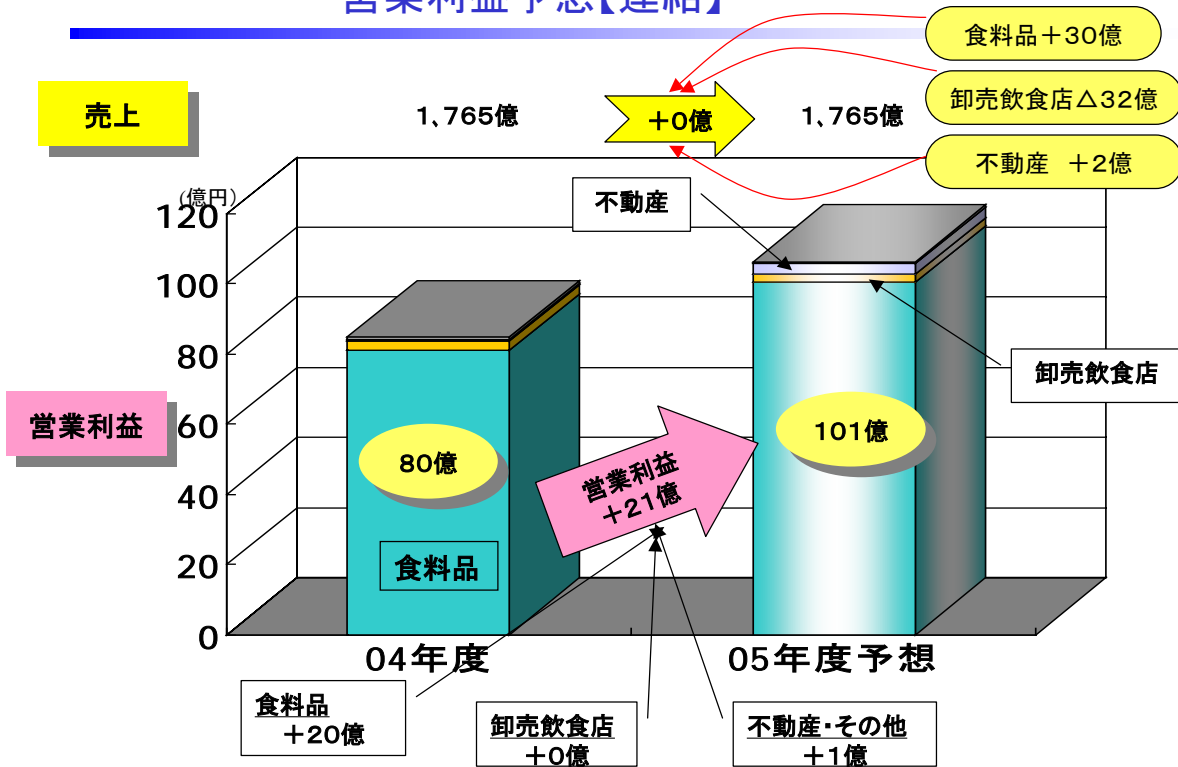
(単位:百万円)

		2005年度予想	2004年度	前年比較	連単倍率
連 結	売 上	176,500	176,478	22 100.0%	111%
	営業利益	10,100	8,042	2,058	106%
	経常利益	10,000	7,815	2,185	105%
	当期純利益	-3,900	3,984	-7,884	103%
製 菓 単 独	売 上	158,900	155,294	3,606 102.3%	
	営業利益	9,500	7,140	2,360	
	経常利益	9,500	7,143	2,357	
	当期純利益	-3,800	3,635	-7,435	



2005年度 セグメント別 営業利益予想【連結】

※主力の食料品に傾注。積極的なローコストオペレーションの推進により、一層の増収と利益増を目指します。

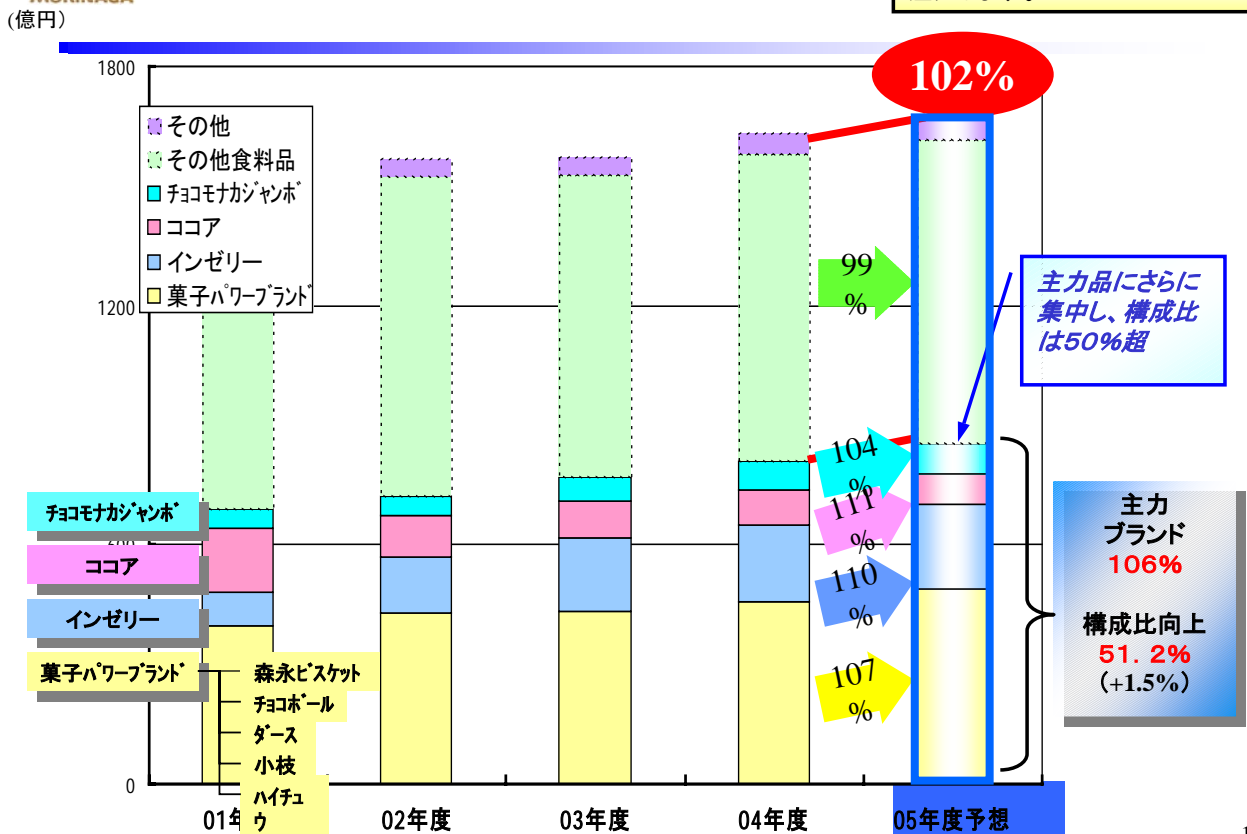


森永製菓2004年度決算説明会



2005年度 売上ポートフォリオ計画【製菓単独】

※利益率の高い主カブランドに注力します。

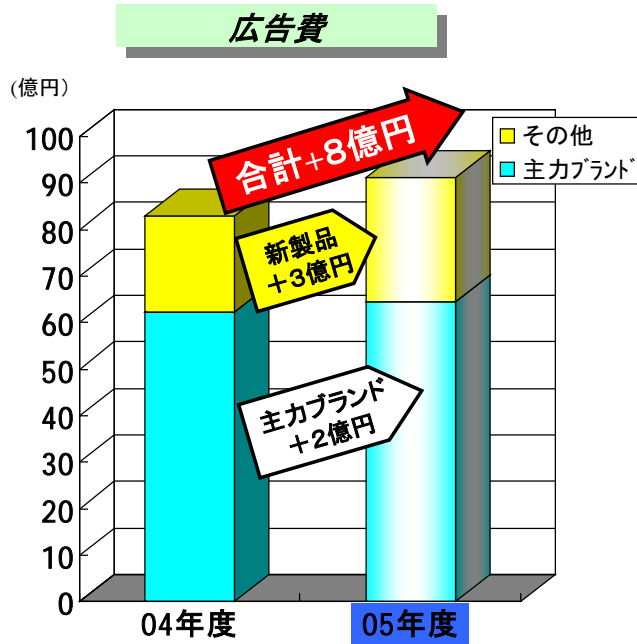


森永製菓2004年度決算説明会

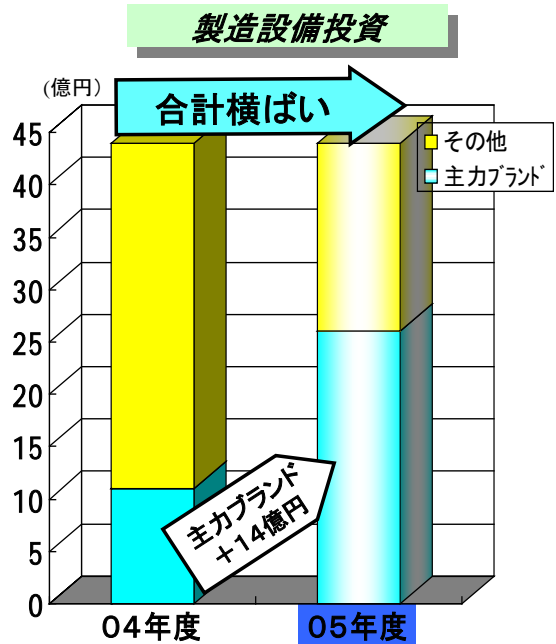


2005年度 資源配分【製菓単独】 (マーケティング投資／設備投資)

※広告費、製造設備投資を主カブランドへ積極的に配分します。



広告費継続投入



新規投資・増産投資増

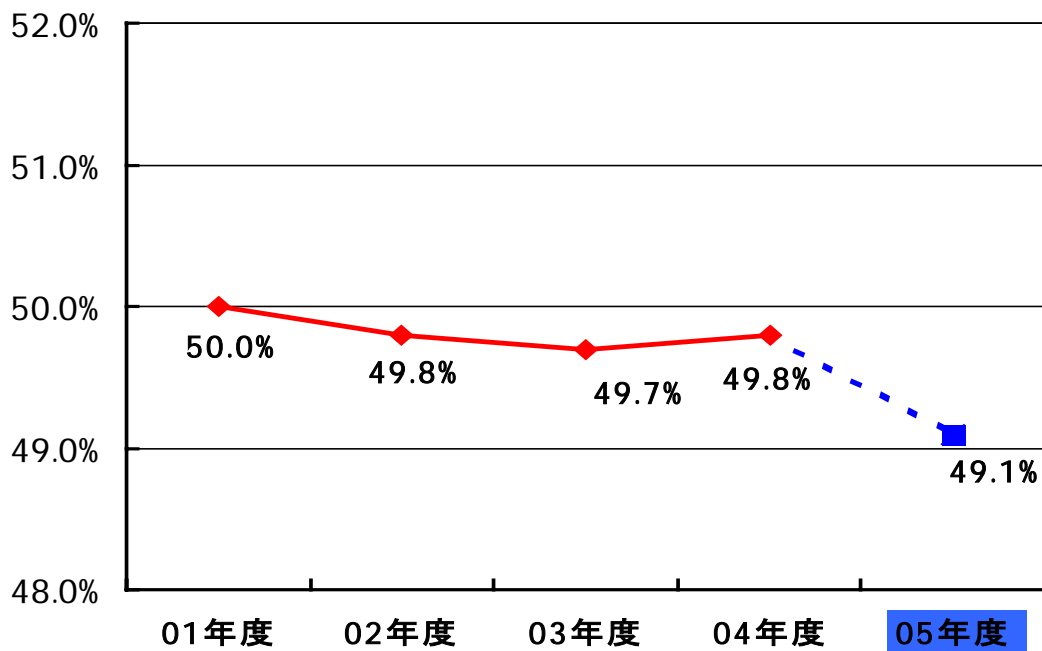
森永製菓2004年度決算説明会

17



2005年度 売上原価【製菓単独】

※生産効率を更に向上し、一層のローコストオペレーションを推進して原価低減を目指します。

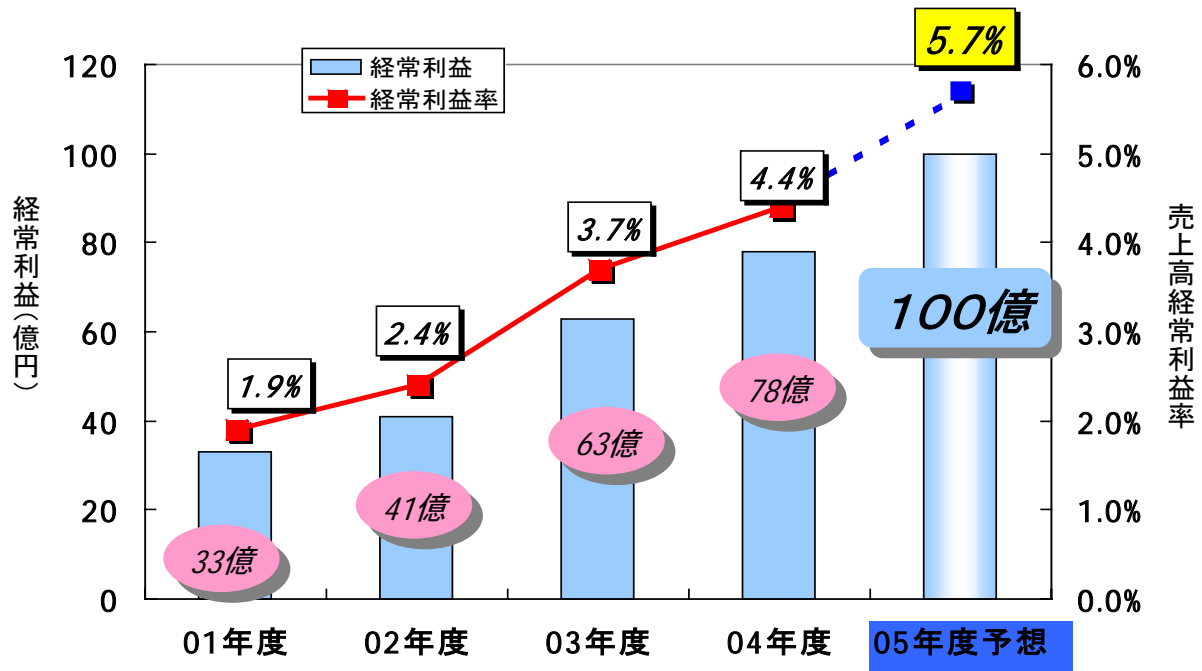


森永製菓2004年度決算説明会

18

2005年度 経常利益【連結】

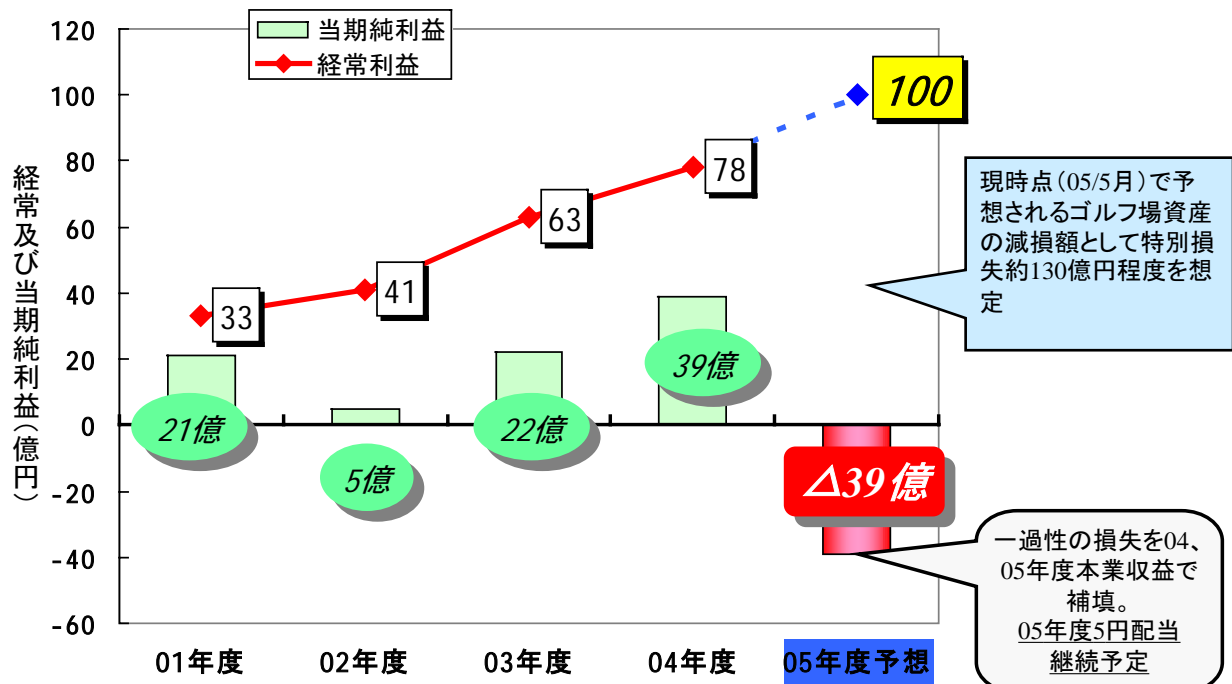
※経常利益100億円、
5年連続増益を目標にします。



森永製菓2004年度決算説明会

2005年度 当期純利益【連結】

※減損処理により当期純損失となりますが、5円配当は継続いたします。



利益体質強化・含み損解消 → 財務体質向上

森永製菓2004年度決算説明会

□2004年度業績

□2005年度予想

□中期経営方針



中期経営方針・株主価値向上

基本方針：安定した高収益力の実現により株主価値向上を図る

増益基調の高収益力企業体質の早期実現

バランス良く
推進

□配当方針
業績に応じた配当政策の早期実現

□財務体質強化
内部留保の確保

□財務状況を見据えて、自己株式取得など柔軟な
資本政策を展開

中期経営方針・戦略展開MAP

マーケット	事業戦略	インフラ整備		財務課題 社会対応 等
		人事・組織	情報システム	
総合メーカー	現業市場 ①選択と集中によるブランド力強化 マーケティング投資・設備投資の傾斜配分 ②販売マネジメント強化による効率的営業体制 ③グループ8工場の生産改革に着手(事業戦略、技術戦略観点から設備最適化を実現～量産化技術センター設立) ④SCM強化による在庫削減と生販在連携の業務効率向上	①1800人体制 ②トータル人件費コントロール ③成果主義人事諸制度定着、人材育成	①経営管理機能強化 ②計数管理充実	パワーブランドカンパニー ①CSR経営 ・コンプライアンス ・リスク管理 ・環境対策 ・お客様対応 ・社会貢献 ・労働CSR ・IR ・コーポレートブランディング ②品質管理 ③財務体質強化
	成長市場 ⑤上海進出(ハイチュウ:グローバル戦略)			
	大人市場 ⑥少子高齢化対応、健康志向(ヘルスフードサイエンス研究所設立、通販事業)			
	その他 ⑦ゴルフ事業収益力向上			